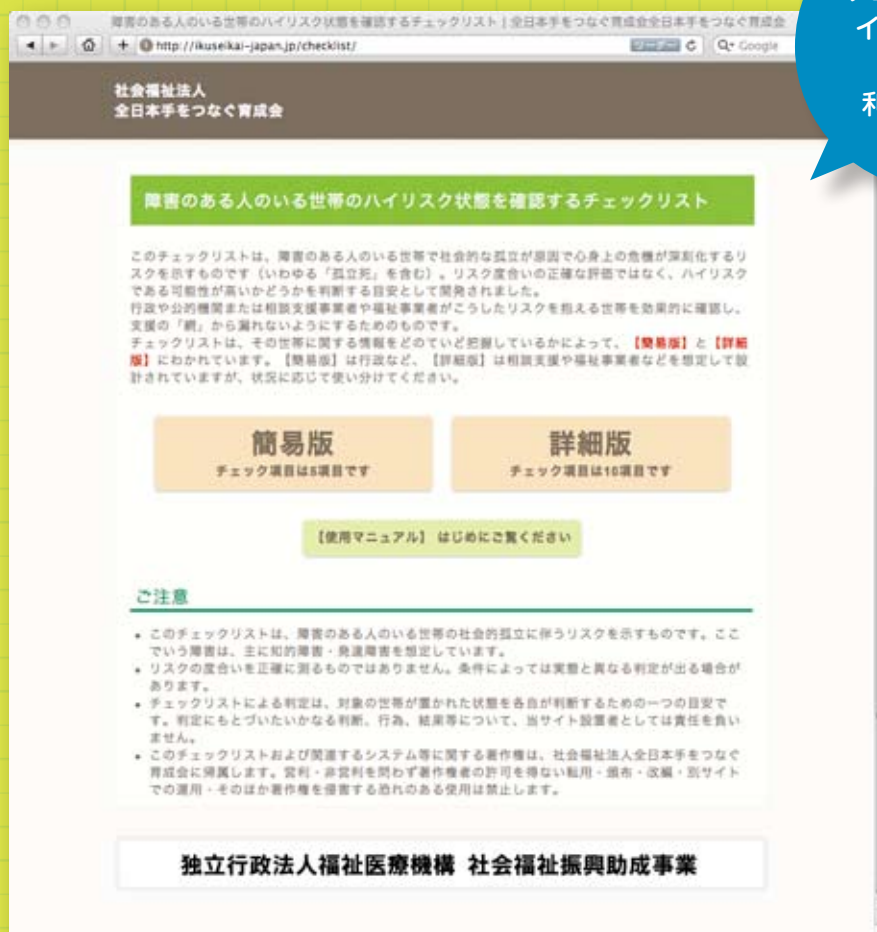


障害のある人のいる世帯の ハイリスク状態を確認するチェックリスト

使用マニュアル

チェックリストは
インターネット
でのみ
利用できます



<http://ikuseikai-japan.jp/checklist/>

独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

簡易版

チェックリストについて

このチェックリストは、障害のある人のいる世帯が孤立死やそれに準じる危機的な状況に陥ることを未然に防ぐため作成されました。社会的孤立によるリスク度合いを点数で表すことで、関係機関や福祉事業者などが「見えにくいSOS」に気づくこと、障害のある本人や家族が自らの生活に潜むリスクを知ることができます。正確なリスクを測るのではなく、一つの目安となるよう作られています。

「リスク」とは

ここでいう「リスク」とは、障害のある人のいる世帯において本人や主たる養護者（親など）に急病や不慮の事故といった緊急事態が起きてこれまでの生活が継続できなくなった場合に、社会との接点が乏しいために誰にも気づかれることなく世帯構成員全員が死亡（あるいはそれに準じる状態）することを指します。

簡易版と詳細版

チェックリストには簡易版と詳細版の2種類があります。どちらを使うかは、その世帯について把握している情報量と用途で判断してください。

簡易版の設問は5つです。限られた情報しか把握できない場合や一度にたくさんの世帯を確認していく場合などに向いています。主に行政機関などによる使用を想定しています。詳細版の設問は10です。より詳しい情報を把握している相談支援や福祉事業者が個別に判定を行う場合、あるいは家族などによるセルフチェックを想定して作られています。

Q1 ご本人の年齢を選んでください。

1. 18歳未満
2. 18歳～29歳
3. 30歳～39歳
4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳
6. 60歳～64歳
7. 65歳以上
8. わからない

Q2 ご本人は現在、何らかの障害福祉サービス^{※1}や療育・教育機関を利用していますか。

例：日中活動、ヘルパー、ショートステイ、相談支援、権利擁護等。幼児学齢期は学校等や療育機関を含む

1. はい（利用している）
2. いいえ（利用していない）
3. わからない

Q3 世帯の構成人数は何人ですか。

1. 1人（ご本人の一人暮らし）
2. 2人（ご本人+家族等1人）
3. 3人以上（ご本人+家族等2人以上）
4. わからない

Q4 ご本人にとっての主たる養護者^{※2}の状況について、当てはまる番号をすべて選んでください。

1. 養護者が要介護認定、または障害支援区分認定を受け、要介護・要支援状態である
2. 養護者が病弱等、心身に問題がある（1以外）
3. 主たる養護者に上記のような問題はない
4. 主たる養護者がいない
5. わからない

Q5 世帯の経済状態（現在の暮らし向き）はいかがですか。^{※3}

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. 普通
4. やや苦しい
5. 大変苦しい
6. わからない

詳細版

Q1 ご本人の年齢を選んでください。

1. 18歳未満
2. 18歳～29歳
3. 30歳～39歳
4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳
6. 60歳～64歳
7. 65歳以上
8. わからない

Q2 ご本人の現在の健康状態はいかがですか。

1. よい
2. まあよい
3. 普通
4. あまりよくない
5. よくない
6. わからない

Q3 ご本人は現在、何らかの障害福祉サービス^{※1}や療育・教育機関を利用していますか。

例：日中活動、ヘルパー、ショートステイ、相談支援、権利擁護等。幼児学齢期は学校等や療育機関を含む

1. はい（利用している）
2. いいえ（利用していない）
3. わからない

Q4 世帯の構成人数は何人ですか。

1. 1人（ご本人の一人暮らし）
2. 2人（ご本人+家族等1人）
3. 3人以上（ご本人+家族等2人以上）
4. わからない

Q5 ご本人にとっての主たる養護者^{※2}は、要介護認定、または障害支援区分認定を受け、要介護・要支援状態にありますか。

1. はい
2. いいえ
3. 主たる養護者がいない
4. わからない

Q6 ご本人にとっての主たる養護者は、問5以外に、病弱等、心身に問題がありますか。

1. はい
2. いいえ
3. 主たる養護者がいない
4. わからない

Q7 ご本人には、趣味やスポーツ、友人との付き合い（会う、手紙や電話のやり取りをする等）がどの程度ありますか。

1. している
2. ときどきしている
3. あまりしない
4. していない
5. わからない

Q8 世帯としての近所づきあい（町内会等の地域活動を含む）はどの程度ありますか。^{※3}

1. 親しくつきあっている
2. 立ち話をする程度
3. あいさつをする程度
4. つきあいはほとんどない
5. わからない

Q9 世帯の経済状態（現在の暮らし向き）はいかがですか。^{※3}

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. 普通
4. やや苦しい
5. 大変苦しい
6. わからない

Q10 ご本人と同居する家族には、困ったときの相談先や、病気の時・一人ではできない家の回りの仕事の手伝いなどについて頼れる人がいますか。

1. 同居家族には相談先がある
2. 同居家族には相談先がない
3. 本人と同居する家族はいない
4. わからない

※1「障害福祉サービス」は、介護保険によるサービスは除いてください。 ※2「主たる養護者」は基本的に同居し、世帯内で障害のある人の養護を担う人。肉親とは限りません。 ※3周囲との付き合いや経済状態は記入者の主観で判断しても構いません。

判定について

チェックリストは、インターネットでのみ利用できます。印刷されたものでは判定ができません。

簡易版・詳細版とも4段階でリスク度合いが表示されます。

簡易版	詳細版	判定
69点～	69点～	リスクは極めて高いです
62～68点	63～68点	リスクは高いです
53～61点	52～62点	一定のリスクがあります
～52点	～51点	現時点で大きなリスクは見られません

点数および判定内容とも一つの目安ですので、相互比較や順位付けには用いないでください。「大きなリスクは見られません」は、支援や見守り等が不要であることは意味しません。

使用上の注意点

- チェックリストで判定されるリスク度合いは、世帯の危険度や緊急性を正確に測るものではありません。条件によっては実態と異なる判定が出る場合もあります。対象の世帯が置かれた状態を各自が判断するための一つの目安としてください。
- 支援の「網」からもれる世帯を少なくするため、判断が難しい場合は点数が高めに出るように設計されています。
- 一度に多数の判定を行うなどインターネット上での取り扱いに不都合のある場合は、下記までお問い合わせください。
- チェックリストの判定にもとづいた判断、行為、結果等について、作成に携わった関係者および全日本手をつなぐ育成会ともいかなる責任も負いません。
- このチェックリストおよび関連するシステム等に関する著作権は、全日本手をつなぐ育成会に帰属します。営利・非営利を問わず著作権者の許可を得ない転用・頒布・改編・別サイトでの運用・そのほか著作権を侵害する恐れのある使用は禁止します。

※チェックリストおよびこのマニュアルは、
平成25年度独立行政法人福祉医療機構助成金
「知的障害児者を含む世帯の「孤立死」を防ぐ事業」により、
全日本手をつなぐ育成会が作成しました（2014年3月発行）。

制作・発行

社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会

東京都港区芝公園 1-1-11 興和芝公園ビル 2F

TEL 03-3431-0668 URL <http://www.ikuseikai-japan.jp/>